

(令和4年4月~令和5年2月)

### 1 第 11 回通常総会の開催

### (オンライン併用によるハイブリッド会議)

第11回通常総会が、令和4年6月1日午後3時30分から霞山会館においてハイブリッド会議形式で行われた。

安元副会長が総会議長を務めて審議が行われ、令和3年度(令和3年4月1日~令和4年3月31日)の事業報告・決算報告について承認された。

つづいて、今般、正会員理事である荏原環境 プラント(株)の佐藤理事、(株神鋼環境ソリューションの八十理事から交代の申し出があったことから、その後任として5月11日開催の第1回理事会において推薦を頂いている甲斐正之氏(荏原環境プラント(株))と山形成生氏(株)神鋼環境ソリューション)の役員の選任及び同理事会において特別会員として入会した牧谷邦昭氏の役員の選任について審議が行われ、全会一致で承認された。



第11回通常総会であいさつする古川会長



議長の安元副会長

### 専務理事の選任

総会終了後開催した理事会において、専務理 事には牧谷邦昭氏が選任された。

### 会長表彰

工業会の事業活動に永年貢献された功績により、次の8氏が会長表彰を受け、受賞者を代表して田中氏(日立造船(株))から謝辞があった。

今井 孝治 氏(荏原環境プラント(株))

國信 雅昭 氏 (㈱ 川崎技研)

齋藤 浩一 氏 (メタウォーター(株))

妹尾 貞男 氏(日立造船(株))

竹田 航哉 氏(川崎重工業(株))

田中 朝都 氏(日立造船(株))

松山 智哉 氏 (三機工業株)

丸田 元太 氏 (株)タクマ)



会長表彰(左より丸田氏、今井氏、松山氏 國信氏、齋藤氏、妹尾氏、田中氏、竹田氏)

# 2 理事会の開催

次の各日程及び議題により、理事会が開催され審議が行われた。

◇令和4年5月11日(第1回)
(オンライン併用によるハイブリッド会議)

- ・令和4年度会長表彰について
- ・令和3年度事業報告(案)について
- ・令和3年度決算報告(案)について
- ・特別会員の入会について
- ・理事の推薦について
- ・第11回通常総会の開催について
- ・職務執行状況報告について

◇令和4年6月1日(第2回)

・専務理事の互選について

## 3 環境大臣表彰

一般廃棄物処理に関する公益法人等において 当該事業の向上及び発展に顕著な功績により環 境大臣表彰 (一般廃棄物関係事業功労者) が、 古川実氏(日立造船㈱)に、また、廃棄物等の 発生抑制、循環的な利用及び適正処分又は浄化 槽によるし尿及び、雑排水の適正処理に関する 研究開発、技術開発において、学術的、実用的 に優れた業績を上げ、その成果によって廃棄物 処理事業又は浄化槽関係事業の発展に対する顕 著な功績による環境大臣表彰(廃棄物・浄化槽 研究開発功労者) が三好敬久氏(荏原環境プラ ント(株)) と上林史朗氏(クボタ環境エンジニア リング(株)) に授与されることになり、令和4年 10月25日に千葉県千葉市の幕張メッセ国際会 議場で開催された第66回「生活と環境全国大 会」の式場で表彰状が授与された。表彰を受け た3氏に対し、工業会で開催したお祝いの会で 記念品が贈呈された。



環境大臣表彰受賞者 (左から三好氏、古川氏、上林氏)

#### 4 施設見学会の開催

- · 企画運営委員会
  - ①令和4年7月20日北海道苫小牧市にある「㈱」ファーム苫小牧」と「日本CCS調査 ㈱苫小牧 CCS 実証試験センター」において施設見学を行い、17名の参加があった。



Jファーム苫小牧内部の説明を受ける見学者



苫小牧 CCS 実証試験センターにおいての 質疑応答風景

②令和4年12月8日に鹿児島市にある「鹿児島市新南部清掃工場」において施設見学を行い、15名の参加があった。



説明を受けながらの見学 (鹿児島市新南部清掃工場)

# ·技術委員会

令和4年12月5日に島根県出雲市にある「出 雲エネルギーセンター」において施設見学を行 い、19名の参加があった。



集合写真 (出雲エネルギーセンター)

# ·建設運営一体事業研究会

令和4年11月15日に熊本県合志市にある「菊 池環境工場クリーンの森合志」おいて施設見学 会を行い、24名の参加があった。



説明を受けながらの見学 (菊池環境工場クリーンの森合志)

### 5 海外環境事情調査

令和5年2月19日~2月25日まで、ノルウェー、デンマーク、オランダに技術委員会等の11名からなる調査団を派遣し、混合ごみ選別施設、ごみ発電施設におけるCCUSに関する廃棄物処理施設などに調査を実施した。

## 6 関係団体との共催

令和4年6月23日、(一社)環境衛生施設維持管理業協会(JEMA)と工業会の技術委員により情報・意見交換等の検討会を開催し相互理解を深めた。

## 7 環境省、自由民主党に対する要望

令和4年8月18日に古川会長等が環境省環境再生・資源循環局長に対して、資機材、エネルギーおよび物流・輸送価格高騰等への対応に関する要望を行った。具体的にはスライド条項の適切な適用、運用がなされるよう必要な対応、循環型社会形成推進交付金の追加予算措置、適正な工期の確保についてである。

その後、プラント工事における各項の適用実態等について追加の説明等を行ったことなどにより、12月27日付事務連絡「廃棄物処理施設整備事業の円滑な施工確保について」が各都道府県あてに発出され、事例集も作成・公表された。

また、令和4年11月2日に開催された、自由民主党主催の「予算・税制等に関する政策懇談会」に牧谷専務理事が出席し、「令和5年度予算・税制に関する要望書」を提出するとともに、その内容について説明を行った。

### 8 受託調査等の実施

(株)エックス都市研究所から令和4年度「廃棄物処理施設の耐震・浸水対策の手引き」の製作及び普及促進等支援業務について請け負った。

### 9 関係団体等の各種委員会等への参画

- 1) (一財)日本環境衛生センター
- ・「令和4年度でデジタル技術の活用等による脱炭素型資源循環システム創生実証事業 委託業務」に係る検討会
- ・「令和4年度廃棄物処理システムにおける 脱炭素・省CO<sub>2</sub>対策普及促進方策検討調 査委託業務」に係る検討会
- ・脱炭素・EU タクソノミーへ向けた廃棄物 処理のあり方研究会
- 2) (公社)全国都市清掃会議
- ・「第 44 回全国都市清掃研究・事例発表会」 実行委員会
- 3) (公財)日本産業廃棄物処理振興センター
- ·教育研修運営委員会
- 4) (株)エックス都市研究所
- ・令和4年度脱炭素化・先導的廃棄物処理システム実証事業(地域の熱利用マッチングによる焼却施設からのエネルギー回収高度化実証)検討会
- 5) みずほリサーチ&テクノロジーズ(株)
- · 廃棄物処理施設排出量推計作業部会
- 6) パシフィックコンサルタンツ(株)
- ・廃棄物・資源循環分野の 2050 年カーボン ニュートラル・脱炭素社会の実現に向けた 検討会
- 7) (一社)廃棄物処理施設技術管理協会
- · 環境技術会誌編集員会
- 8) (公財)産業廃棄物処理事業振興財団
- ・自立・分散型エネルギー研究会

## 10 関係団体等の各種講習会等への講師派遣

1) (一財)日本環境衛生センター

(講師派遣延べ38名)

- ・2022 年度廃棄物処理施設技術管理者講習会 (講師派遣延べ34名)
  - ①中間処理施設コース (6名)
  - ②産業廃棄物焼却施設コース (14名)

- ③破砕・リサイクル施設コース (5名)
- ④有機性廃棄物資源化施設コース (5名)
- ⑤ごみ処理施設コース (4名)
- (一社)日本環境衛生センター(西日本支局)
- ・2022 年度技術管理者等スキルアップ研修会 (講師派遣延べ4名)
  - ①ごみ処理部門 (2名)
  - ②し尿・汚泥再生処理部門 (2名)
- 2) (公財)日本産業廃棄物処理振興センター (講師派遣延べ4名)
- ・産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集
  - ・運搬/処分課程(更新講習会) (2名)
- ・産業廃棄物の収集・運搬 / 処分課程 (新規 講習会) (2名)
- 3) 中央労働災害防止協会
- ・ダイオキシン類作業指揮者養成研修会 (講師派遣 13 名)
- 4) (一社)環境衛生施設維持管理業協会
- ·第35回事業所管理者研修会

(講師派遣延べ2名)

- ①ごみグループ研修 (1名)
- ②水グループ研修 (1名)

## 11 関係団体冊子等への執筆協力

・(一社)廃棄物処理施設技術管理協会 季刊「環境技術会誌| (1名)